

 **第8回NPO/GCM交流フォーラム**

**ファルマバレーセンターにおける
広域連携ネットワークの未来**

2020年12月5日
公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構
ファルマバレーセンター 稲葉大典

1


 **静岡県の新産業集積クラスター**

次代の成長産業シーズが3地域のクラスターに集結

日本の新たな産業活力が、静岡県から生まれる



西部地域	中部地域	東部地域
モノづくり産業が集積 ピアノ出荷額全国1位、 輸送用機器出荷額全国2位 静岡大学（工学部等）、浜松医科大学等	食品産業が発達 食料品・飲料等製造品出荷額 全国1位 県立大学（薬学部）、静岡大学（農学部）など	医薬品・医療機器産業が集積 医薬品医療機器合計生産金額 全国1位 県立静岡がんセンター&研究所、 遺伝研、沼津高専 など
 フォトンバレー PHOTON VALLEY 光・電子技術関連産業	 フーズヘルスケアカオイ FHCaOI	 ファルマバレー PHARMA VALLEY 医療・健康関連産業
E V化や自動運転等次世代自動車への参入を目指す地域企業を支援する。 次世代モビリティプロジェクト	マリンバイオテクノロジー等先端科学技術開発による「知の拠点」と「産業応用の拠点」づくり MaOIプロジェクト	農業分野で革新的な栽培技術の開発を進め、飛躍的な生産性向上を図る。 AOI プロジェクト
航空・宇宙分野への進出 浜松商工会議所	お茶の新たな価値・需要創造 ChaOIプロジェクト	セルロースナノファイバーを利用した製品・用途開発を支援する。 ふじのくにCNFプロジェクト₂



ファルマバレープロジェクトのあゆみ

平成13年2月	富士山麓先端医療産業集積構想策定（ファルマバレープロジェクト）
平成14年4月	第一次戦略計画（5年間）
同 9月	静岡がんセンター開院
平成15年4月	（公財）静岡県産業振興財団ファルマバレーセンター開設
平成19年4月	第二次戦略計画（4年間）
平成23年4月	第三次戦略計画（10年間）
平成23年12月	ふじのくに先端医療総合特区地域指定（内閣府）
平成24年2月	ふじのくに先端医療総合特区事業認定（内閣府）
	○課題解決型医療機器開発支援事業（特区枠）の活用（経済産業省）
平成25年6月	地域イノベーション戦略支援プログラム採択（文部科学省）
平成28年9月	静岡県医療健康産業研究開発センター開所
平成29年8月	（一財）ふじのくに医療城下町推進機構として独立
平成31年4月	（公財）ふじのくに医療城下町推進機構に改組
令和3年4月	第四次戦略計画（5年間）スタート ※広域連携がKW



静岡県医療健康産業研究開発センター

ファルマバレーセンターを構成する企業



研究開発室・オフィス

- ・ オリンパステルモ
- バイオマテリアル
- ・ サンスター ・ リコー
- ・ サイタ・FDS ・ 深澤電工
- ・ ヤザキ工業
- ・ テクノサイエンス
- ・ 樹之下知的財産事務所
- ・ オフィス長谷川
- ★ 医学図書館

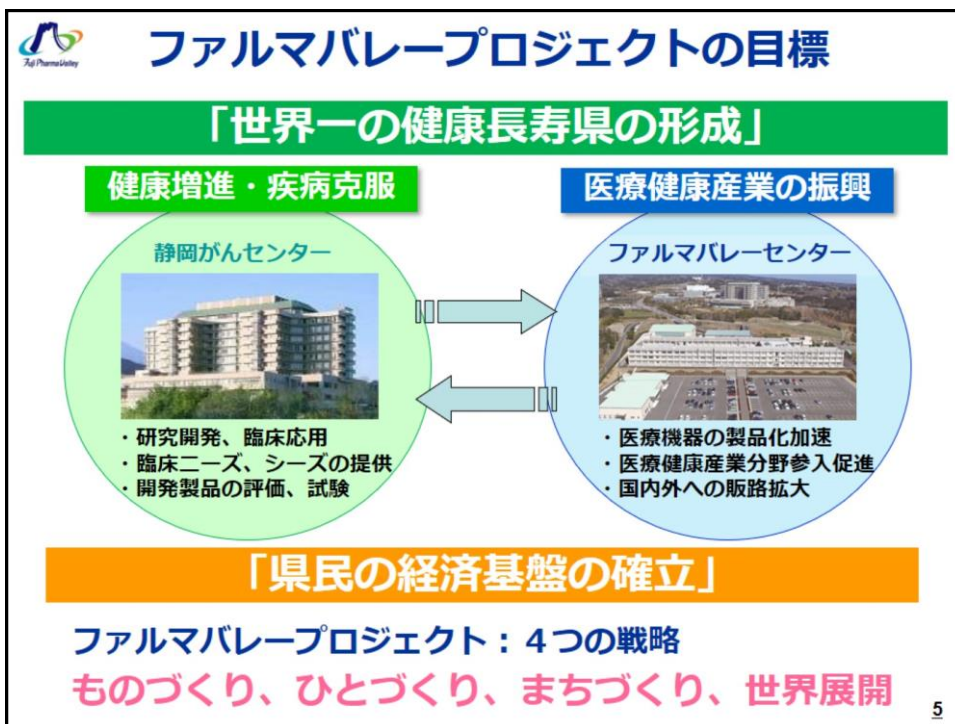
ファルマバレーセンター事務局

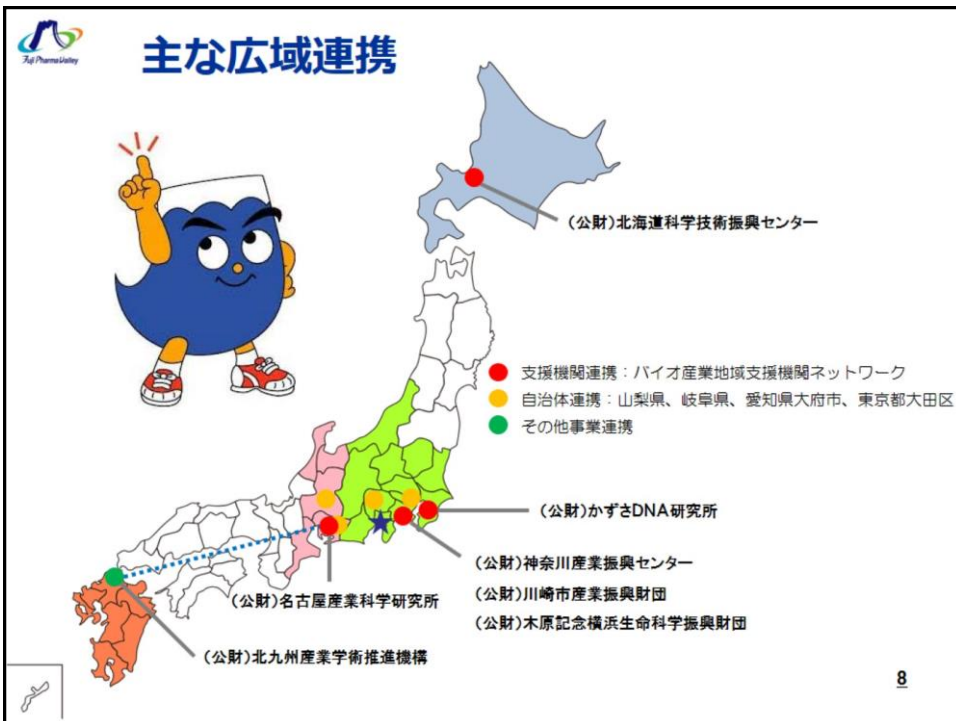
リーディングカンパニーゾーン
テルモMEセンター

静岡がんセンター

地域企業生産開発ゾーン
東海部品工業
(富士メディテックセンター)

4







New! 健康長寿・自立支援プロジェクト

【基本理念】

高齢者が個人として尊重され、その人らしく暮らしていける自立支援システムの構築

【基本方針】

要支援から要介護2までのお年寄りを対象にした生活の維持、改善を目指す。

【戦略】

1. 老化現象予測・予防プロジェクト (プロジェクトHope)
2. 補助器具紹介・開発プロジェクト (開発と情報提供)
3. 医療介入支援プロジェクト (開発と情報提供)
4. 人生100歳住宅整備プロジェクト (理想の住環境提案)

9



トヨタ実験都市「ウーヴン・シティ」




10

 **モビリティ x ウェルネス x ...**



11

 **ファルマバレーセンター**
“新たな挑戦”

ファルマバレープロジェクトは
 広域連携による点から面の展開で、
 “ものづくり” “ひとづくり”
 “まちづくり” “世界展開の促進” に
 取り組み、地域経済の振興を図ります。

山梨県・愛知県・岐阜県